



日本手話言語法に向けて:
欧州/ベルギーで学んだ教訓

ヘルガ・スティーブンス
フランドル地方議会議員・ベルギー上院議員
2014年3月14日 東京

4部構成:

- 1.はじめに: 手話の認知が必要な理由
- 2.国際レベル
- 3.欧州レベル
- 4.フランドル地方





1. はじめに



- 手話を使う権利:
 - 社会における包容(インクルージョン)への鍵
 - 最も基本的な人権の一つ: 意思疎通する権利(ろう者と健聴者)
- 手話で意思疎通する権利は、教育、就労、市民権の享受、文化、メディア、自由時間等へのアクセスに直接関わる => 社会へのアクセス = 包容(インクルージョン)
- 手話の法的認知がないということは、ろう者の社会的疎外を意味する。



- 手話における私たちの権利

- 1. = 私たちの人権の一部

- 世界人権宣言(1948):

- WFD調査(2009):

ろう者の人権で最も大切なのは、**手話の認知**や手話へのアクセスに加えて、バイリンガル教育や手話通訳者へのアクセス、法廷を含む情報や公共サービスへの一般アクセスも。



2. = 少数者の権利

- 世界人権宣言(1948)に基づく:
- ろう者は、**人権**と**言語権**が交差する場所に立つ一方で、**障害者の権利**の主張も可能。言語的少数者の一部も形成するがゆえに、法的措置によって擁護・保護される必要がある。



■ 3. = 言語的人権

- トーヴェ・スクトナブ＝カンガスが提唱
- 言語権と人権の組み合わせ
- 言語的人権は「人間の基本的欲求を満たすために必要な」権利のみ
 - = ろう者でいえば、手話へアクセスし、学び、使う権利のこと！ 手話がなければ、意思疎通することは不可能。





2. 国際レベル



■ 国連障害者権利条約 (UNCRPD)



- ✓ ろう者や障害者の平等のための取り組みの中で、
もっとも重要な文書の一つ
 - ✓ 2006年採択、2008年5月3日発効
 - ✓ 150カ国以上が署名 (ベルギーは2007年3月30日、
日本は2007年9月28日、ただし選択議定書を除く)。
115カ国が批准 (ベルギーは2009年7月2日、
日本は2014年1月20日)。



United Nations Convention on the Rights of
Persons with Disabilities (UNCRPD)

WE ARE ABLE! Enhancing Possibilities, Celebrating Abilities

国連障害者権利条約

- ✓ 本文の中で、**手話**に言及し、
手話使用者の権利を擁護した
初めての国際条約



障害者権利条約締約国会議



3. 欧州レベル



- 目的: 手話の認知を、欧州連合(EU)の政治的優先課題にすること
- 方法: 手話の認知を妨げるもの、より一般には、ろう者が直面する問題とバリアを調査する
- 結果: ろう者は、自分たちが「姿の见えない市民」として二流の状況におかれていることを認識したが、容認することはできなかった:
行動する時！



- 多くの欧州各国で手話の法的認知
- ろう者の望ましい言語として手話に対し、政治的な注目の契機/再発見
=> 手話の政治的認知





欧州連合(EU): 現在28か国

➤手話プロジェクトの根拠:

ろう者の望ましい言語として手話を使う
権利を促進するため、手話に関する欧
州議会提言1988年6月17日 =EU本文
で初めて「正式に」手話へ言及

➤その結果、1998年に新たな手話に関
する欧州議会提言



欧州評議会(CoE): 47か国



➤ 勧告1492 (2001年)

「欧州で使われている様々な手話にも、欧州地方語・少数言語憲章で認められているのと同様の保護」を与えることを閣僚委員会に要請。

➤ 勧告1598 (2003年)

欧州評議会加盟国における手話の保護について

=> 欧州の文化的・言語的な豊かさと遺産を表すものとして、欧州評議会(CoE)で手話を認知



欧州連合内での手話に関する法制化の包括的調査のまとめを、欧州ろう連合(EUD)が出版（第2版）





4. フランドル地方



- 2004年にフランドル地方議会で当選した後、自分が最初に優先したこと!
- ろうコミュニティやフランドルろう協会と密接に協議
- 2005年、「デフ・アクション・フロント(DAF)」が始めた請願運動で、70,000筆の署名を集め、フランドル地方議会に提出
- 2006年4月26日、自分が提案した法令がフランドル地方議会で全会一致により承認され、2006年5月5日フランドル地方政府によって署名される



■ フランドル手話(VGT)を認知する法令の 三大要点

- ✧ フランドルにおける手話の公認
- ✧ フランドル手話に関する諮問委員会:



- ✧ フランドル手話に関する言語学研究を促進・実施するために、フランドル手話センター設立の資金を提供:



フランドル手話が認知されたことで、ろう者の日常生活への影響は実際にあったか？

- 答え：成果もあれば課題もある
- 認知は最初のステップに過ぎない。ろうコミュニティがフォローアップしなければ、法律はただの紙切れである。

フランドル地方での状況を
検証してみよう



手話関連プロジェクトへの資金提供:

▪ **フランドル手話センター**: フランドル手話の言語学研究
+ フランドル手話の促進。ろうの専門家！ 残念ながら、ろうの言語学専門家がもっとたくさん必要...

▪ 法律によって: フランドル手話関連のプロジェクトへの資金提供:

- フランドル手話通訳者向けのワークショップ
- **フランドル手話で一緒になろう！ (VGT Doe mee!)** プロジェクト: ろう児や親を対象: 子供たちに手話の環境を、親たちへは手話や「ろう文化」等を学ぶ機会を提供。
- ろう者が(テレビやショー等の)プロの司会者になるためのトレーニング
- ...



良かった点: 職場での手話通訳者供給のための
予算が拡大

■ フランドル労働医療サービス(VDAB)が、以下の
場面でフランドル手話通訳による支援を提供:

- 求職者向け研修
- 可能性の高い雇主との面接
- 遠隔通訳
- 仕事に関連する会議や同僚・上司との相談等: 就
労時間の10%まで(場合によっては倍の20%も) (ろ
うの従業員や、ろうの自営業者が対象)



良かった点: 文化(ただし...)

- 多くの劇場では手話通訳の提供に前向き:

より良いアクセス(?)

- しかし批判も: 資金を、ろう者自身の演劇やドラマのために使ってもよいのでは。

- => 板挟み? いいえ!



良かった点: 視覚メディア(ゆっくりではあるが):

字幕の歴史:

- フランドル公共テレビ: 2010年の時点で、オランダ語番組の95%に字幕
- フランドル商業テレビ: 2009年、より多くのオランダ語番組に字幕を強制する法的措置を導入



2012年9月以降 テレビに手話:

- 7時の30分間ニュースが
手話通訳される (インター
ネット経由)



- 子ども向けのニュース
番組‘Karrewiet’で、
ろう者がフランドル手話
による共同司会



- 教育:
- フランドル地方のろう学校は、今なおフランドル手話を奨励しておらず、手話にやさしい環境ではない。バイリンガリズムを促進するのではなく、「他がだめな場合にとりあえず」フランドル手話という状況。



一般校: 2013年9月の時点で、ろう生徒は手話通訳による支援を求めることができるが、手話通訳者不足や他の問題など。



- 聞こえる生徒に比べて:ろう生徒は障壁が存在するために、潜在能力を十分に引き出せていない
- 連鎖的に悪化することもある
 - 学校で落ちこぼれてしまう危険
 - 長期的な結果:
 - 進学準備が不十分なために、高等教育や大学へのアクセスが限られる
 - 結局、低賃金の仕事に就く





健康管理へのアクセス

- 病院(や開業医): フランドル手話による通訳の支援は、以下の他にない。

2つの大学病院で手話通訳、
数か所の病院で遠隔ビデオ通訳

しかし、外国からの(聞こえる)人たちは、自分の言語による通訳を受けることができる。

- 新生児: 児童・家族サービス:
子供が2歳半になるまで
通訳を受けられる



法律と実生活の隔たり:

- 法的認知だけでは十分でない
- 政府は、ろう者の社会的包容(インクルージョン)を改善するために、**包括的に取り組み**、経過措置を講じなければならない。政策立案者は、「ろうであること」の影響に気付かないことがよくある。
- => 国連障害者権利条約の活用を!
- ろう協会は、ろう者が必要としているものを政府に伝えること。政治的影響力の拡大と支援の獲得のために、他の団体とのネットワークを作ること



- ろう者はさまざまな障壁に直面している:
 - 「衝突」や「競争」が発生
 - 人工内耳を擁護する医学界と
 - ろうの子供を持ちながら、ろう児の保護者であるように見えて、時には包容(インクルージョン)の意味するところについて異なる考え方をもちこともある、親たちと



- それだからこそ、ろう協会から政府へのメッセージは、しっかりと明確に理路整然と！
- 真剣なロビー活動とネットワーク作りを！
どのようにして？ 世界ろう連盟(WFD)の経験とネットワークを活用しよう！





ご清聴
ありがとうございました!

ヘルガ・スティーブンス
フランドル地方議員・ベルギー
上院議員・ゲント市会議員
(新フラームス同盟N-VA)

www.helgastevens.be

